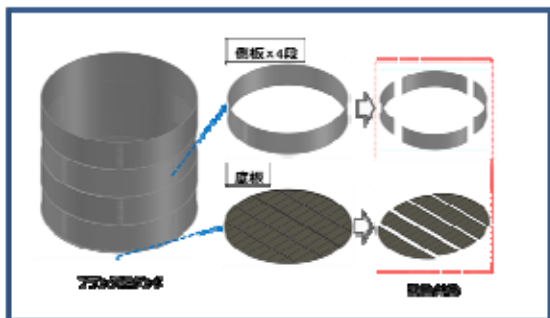


福島第一原子力発電所 大型機器除染設備の運用を開始しました

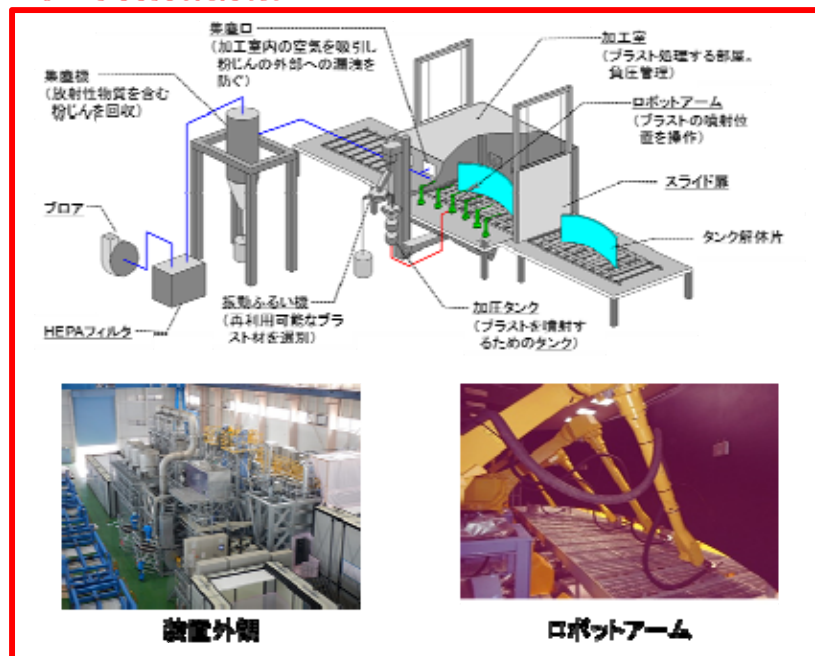
< 参 考 資 料 >
 2018年5月14日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

- フランジ型タンクのリプレース等に伴い発生する解体タンク片などの汚染金属は、瓦礫類として表面線量率に応じて分別し、構内で一時保管しています。
- これらの汚染金属の除染を自動化を取り入れて行う大型機器除染設備について、2017年10月から据付工事を開始、最終的な性能試験を完了し準備が整ったことから、本日（5月14日）から運用を開始しました。
- 本設備によって解体タンク片などの除染が可能となることで、タンク片保管による敷地境界線量やタンク片などの切断に伴う作業員の被ばく量の低減といった構内作業環境の改善につながると考えています。

タンク解体作業



タンク片除染作業



タンク片切断作業



→ コンテナに収納し構内保管